

総務部

クラブボウとフアジャアノ岡山のスポーツ振興活動報告

クラブボウグループとフアジャアノ岡山はスポーツ振興を目的に、またクラブボウグループは企業認知度向上も目指し、2025年シーズン（2025年2月～2026年1月末）もさまざまな取り組みを実施しました。

2月
協賛強化

2025年シーズン、フアジャアノ岡山はJ1リーグに初参戦しました。昇格による注目度の高まりを受け、クラブボウグループは協賛内容を見直し、クラブスポンサーからオフィシャルスポンサーへ格上げしました。社名掲出場所は、アップウェア、フェンス横断幕、マツチデープログラムに加え、新たにピッチボードも追加しました。地域に根差した企業としての存在感強化を目指します。

4月
ネーミングライツ獲得

クラブボウは、フアジャアノ岡山が早島町の敷地に新設したフ

アジャアノ岡山フットボールパーク早島のネーミングライツを獲得し、施設愛称を「クラブボウMIRAIフィールド」としました。この愛称には、クラブボウのDNAである「情熱とチャレンジ精神」をこのフィールドで頑張っている子どもたちにも受け継いでほしい、未来に羽ばたいてほしいという願いが込められています。

8月
署名活動

現在のフアジャアノ岡山のホームスタジアムは、収容人数が

約1万5千人と少なく、フットボール専用スタジアムではないため観客席とフィールドの距離が離れており試合の臨場感に欠けるため、クラブの収益機会や観戦体験の質に課題があります。この現状を改善するため、新スタジアムの整備を要望する署名活動が行われました。各事業所や国内関係会社社に協力を呼びかけ、クラブボウグループとして約600筆の署名を集めました。最終的に署名総数は50万筆以上となり、岡山県と県議会へ提出されました。

10月
合同で清掃活動

クラブボウグループの社会貢献活動「10・100（テン・ハンドレッド）プロジェクト」の一環として、フアジャアノ岡山、J R西日本と合同で「クリーンアッププロジェクト2025」を開催。クラブボウグループからの41人を含む、総勢約70人にご参加いただきました。当日はJ R岡山駅周辺を清掃し、試合観戦に訪れ

るサポーターをきれいな街で迎えました。

また、J R岡山駅に設置された特設ブースでは開催記念バッジを、フアジャアノ岡山のホームスタジアム前のクラブボウブースではアップサイクル技術を活用した「ループプラスチックホルダー」を無料配布しました。清掃後は、記念撮影や試合観戦などを通じて交流を深めました。なお、当日の試合球はクラブボウ本社1階に展示しています。



▲クラブボウ本社で試合球を展示



▲JR岡山駅周辺を清掃



▲ スクール訪問の様子



(コーポレート
コミュニケーション課
吉田 雅也 記)

ファジアーノ岡山は2025年シーズンの結果、J1残留を決定しました。これにより、トップリーグで戦い続けるクラブとして、2026年シーズンも地域の誇りを守り、その存在感をさらに高めていきます。クラブウググループは、今後ファジアーノ岡山との連携を通じて、スポーツ振興と社会貢献活動を推進していきます。

11月 選手がスクール訪問

ファジアーノ岡山の選手がファジアーノ岡山スクール事業の会場を訪問するイベントで、「クラブ MIRAI フィールド」で活動している早島校にもトップチーム選手が来られました。

早島校では、11月15～20日の間に4回実施され、選手紹介、スクール生との触れ合い、スクール生からの質問、選手からのメッセージ・サイン、記念写真撮影などが行われ、子どもたちに夢と希望を届ける貴重な機会となりました。